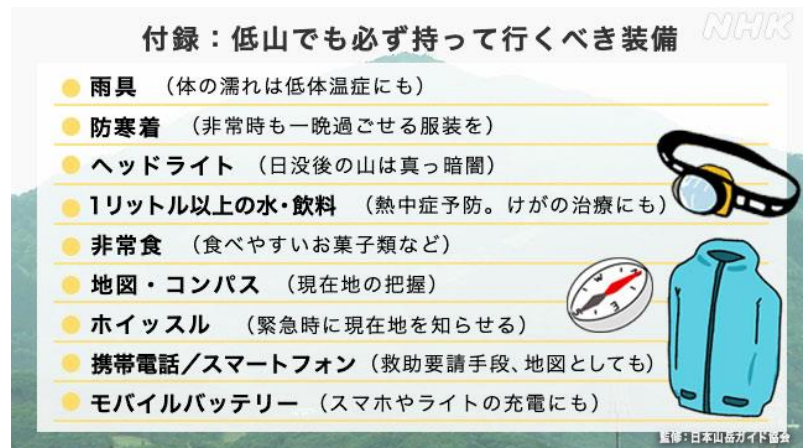


【新型コロナウイルス感染状況下での行動規範】

1. 自己の命を守る（自己の感染と重症化を防止する）
2. 他者の命を守る（他者を感染リスクから遠ざけ、重症化を防止する）
3. 救急・医療態勢に負荷をかけない（遭難しない、ケガをしない）

ハイキング編・・・コロナ禍の自粛で運動不足がちです。転倒事故、体調管理にご注意ください。

1. 体調がすぐれないときは山行に参加しない
2. 住宅街を離れるまではマスク着用、住宅街に降りてきたらマスク着用
3. 登山道でのすれ違い挨拶は、声を出す代わりに、ハンドサインや会釈などにより対応
4. 山行中リーダーはメンバーの体調把握に努める
5. 食事は2メートル間隔をあけて
6. 下山後の飲食会(打ち上げ)の開催は控える



With コロナ時代の新しい富士登山マナー（詳細版）・・・抜粋して引用

http://www.fujisan-climb.jp/resources/documents/manners_detailed_ja.pdf

- 健康不安のある方は、入山について十分に検討しましょう。また、発熱や症状があるなど体調が優れない場合は、登山を行わないでください。【体調管理】
- 大人数で登る場合は、少人数のグループに分かれて行動しましょう。【密集・密接回避】
- ソーシャルディスタンスを確保しましょう。【密集・密接回避】
同行者以外の人とは、ソーシャルディスタンスを少なくとも 2m 確保してください。会話を控え、ソーシャルディスタンスが確保できない場合や登山道でのすれ違い時には、原則、手ぬぐいやマスクなどを利用してください。なお、ソーシャルディスタンス確保のために登山道を外れて登山を行うことは絶対に止めてください。
- 登山道でのすれ違い
 - ・挨拶を行う場合には、声を出す代わりに、ハンドサインや会釈などにより対応しましょう。
 - ・すれ違いで毎回マスクを着脱することは困難なため、出発時にザックのショルダーベルトに手ぬぐいをくりつけ、すれ違い時に口と鼻を覆う方法が実践しやすいです。
 - ・ただし、フェイスカバーが濡れている、呼吸が苦しい等の場合は、無理してフェイスカバーをせず、ソーシャルディスタンスの確保に努めてください。
- 呼吸を荒らげないよう、無理のない自分の移動ペースの維持に努めましょう。【密集・密接回避／体調管理】
- ゴミや吐物は密閉式の袋に入れて持ち帰りましょう。
- 登山中に体調がすぐれない場合や天候悪化が予測される場合は、速やかに登山を中止し、下山しましょう。

登山編

コロナ以降、「登山のために山へ行く」ことは山小屋での宿泊手配だけでなく、感染状況や予防対策などのさまざまな情報を事前入手し、その都度自分で行動の可否を判断する必要があります。

例：赤岳鉱泉 2021年12月以降の営業方針

http://akadake.main.jp/news/2112_22/index.html

【感染予防対策としてお客様に可能な限りご持参いただきたいもの】

- ・マスク
- ・アルコール消毒薬または、消毒用ウェットティッシュ
- ・寝袋又は寝具に被せるインナーシート
- ・枕に敷く手ぬぐい又はタオル

※日々の清掃作業で寝具(掛布団、敷布団、毛布、枕)に付着したウイルスを死滅させる為に、身体の上半身が接触する個所にアルコール除菌を行い、感染予防に努めます。しかしながら、それでも気になるお客様の為にヘリテージ製の不織布シート(インナーシート)1枚 1600円、枕に敷くフェイスタオル 1枚 200円の卸価格で販売いたします。

【感染予防対策としてお客様にご協力いただきたいこと】

以下の方は予約時および受付時にご宿泊をご遠慮いただくことがございます。

- ① 登山当日を含む過去2週間以内(以下、2週間以内)に37.5℃程度の発熱、鼻水や咳、喉の痛み、倦怠感、頭痛、味覚や臭覚など体調に異常があった方。
- ② 2週間以内に外務省より渡航注意喚起の出ている国や地域より帰国された方、また当該地域に渡航又は居住していた人と濃厚接触された方。
- ③ 2週間以内に新型コロナウイルス感染症と診断された、または疑いがもたれている人と濃厚接触された方。
 - ・小屋滞在時には、ワクチン接種の有無にかかわらずマスク着用の徹底をお願いいたします。マスクを持参されていないお客様には現地にて1枚100円で不織布マスクをお買い上げいただき、マスクの着用を行っていただきます。
 - ・入館時には、アルコールによる手指消毒、検温、問診票への記入等のご協力をお願いいたします。

スタッフは自身が新型コロナウイルスの感染者かもしれないという自覚をもってお客様を接客いたします。

お客様はご自身が新型コロナウイルスの感染者かもしれないという自覚もった行動を心掛けていただければ幸いです。

これらの取り組みは確実に感染を予防できるものではございませんが、少しでも感染リスクを抑える為に赤岳鉱泉・行者小屋のガイドラインにご理解とご協力をいただきますよう宜しくお願いいたします。

赤岳鉱泉・行者小屋 四代目 柳沢太貴

登山者への5つのお願い

必ず事前に登山計画書を届出しましょう



1

体調管理

体調に不安がある場合は、絶対に入山しないこと。

- 日ごろの体調管理に加え、当日の検温を。
- 少しでも風邪症状があったら入山を控えましょう。

2

情報収集

山小屋・テント場の営業確認、事前予約を徹底すること。

- 山小屋泊の場合は必ず事前予約しましょう。
- テント場利用の場合も事前に連絡を。

3

山選び

十分に難易度を落とした山選びをすること。

- 登山中に体調を崩すと、救助・医療体制に負担をかけ、山小屋の営業にも影響を与えます。

4

行動計画

混雑を回避する登山計画により行動すること。

- 混雑期を避け、少人数のパーティーで入山。
- 宿泊、休憩場所ではマスクを着用し、他の登山者と一定の距離をとりましょう。

5

装備

感染予防グッズを携行し、ゴミは持ち帰ること。

- 消毒液、体温計、マスク、シュラフ、使い捨て手袋、多めの水、密閉ゴミ袋等が必要です。
- 山小屋がルールを定めている場合は従いましょう。

長野県観光部山岳高原観光課



<http://www.jsmmed.org/indexSub6.html>